

徳島県立総合看護学校
令和7年度第2回 学校運営委員会 議事録

1 日時

令和8年1月28日（水） 午後3時～午後4時05分

2 場所

徳島県立総合看護学校 会議室

3 出席者

(1) 委員

頭師委員長、齋藤委員（Web参加）、庄野委員、葉久委員、
三宅委員、岩佐委員、福壽委員

(2) 委員以外

・オブザーバー

多田課長補佐（徳島県医療政策課）、中村事務局長（徳島県医師会、Web参加）

・事務局（徳島県立総合看護学校）

岡山副校長兼事務長、藍原副校長、四宮第一看護学科長

・補助者

総務担当 篠塚課長補佐、矢口係長、遠藤事務主任

教務担当 小川第二看護学科長、高橋准看護学科長、水田第一看護学科教務主任

4 次第

(1) 学校長あいさつ （略）

(2) 議事

ア 資料説明（学校運営状況等）

イ 学校運営に関する協議

5 議事

(1) 資料説明

岡山副校長兼事務長から、学校運営状況等について資料に基づき説明。

(2) 質疑・意見等（要旨）

・三宅委員

成績不良による休学というのはどういう状況か確認したい。

・藍原副校長

准看護学科では1科目でも落とすと留年となるため、一旦休学して、4月に復学し再履修するというケースである。

・三宅委員

第一看護学科の社会人入学試験を5名が受験して合格者が0名というのは、せっかく制度を設けたのにもったいないと感じるが、理由は何か。

- ・頭師委員長
推薦と社会人を合わせて 25 名の募集をしている。推薦と社会人の試験科目は異なるが、総合点の上位 25 名を合格としたところ、結果的に社会人の合格者がいなかったという状況である。
- ・葉久委員
今年度の卒業生の進路について、県外就職者が昨年度より減少しているが、学生の出身地や志向の変化などの要因があるのか。
- ・頭師委員長
出身地による影響や学生の志向に大きな変化はなく、今年度はたまたま県内希望者が多かったと思われる。県外での就職希望があったが第一志望が叶わず県内へ切り替えた学生もあり、京阪神方面での就職希望者が一定数存在するという近年の傾向は変わっていない。
- ・葉久委員
県外での就職を希望している学生は、県内の奨学金等を受給していないのか。
- ・頭師委員長
県外希望の学生は受給していない。
- ・三宅委員
オープンキャンパスのアンケート結果は良好だが、今の若者は Instagram 等の SNS で情報を得ている。在校生の意見も聞きながら、SNS での発信を強化すべきではないか。
- ・頭師委員長
SNS の活用は課題だと認識している。若者に響く情報発信を検討したい。
- ・葉久委員
アンケートの実施方法を知りたい。
- ・岡山副校長兼事務長
臨地実習、オープンキャンパス及びホームカミングデーのアンケートは、Google フォームを活用し、QR コードからアクセスして回答してもらった。中学生の看護学生体験のアンケートは紙で実施した。
- ・岩佐委員
中学生の看護学生体験は非常に良い取組だが、今後拡大する予定はあるか。
- ・頭師委員長
今年度が初めての試みであり、まずは近隣中学校との関係を深め、継続・拡大していきたい。
- ・庄野委員
訪問看護ステーションに就職する学生について、訪問看護を選んだ理由を知りたい。実習等の影響があるのか。

- ・ 藍原副校長
第二看護学科では、身近に接したことのある学生が訪問看護に興味を持っていることが多い。学校として特段の誘導はしていないが、実習を通じて元々興味を持っていたことから進路として選択したことが考えられる。
- ・ 庄野委員
県西部、県南部は看護職不足であるが、第一看護学科の出身高校のデータを見ると、県西部や県南部からの入学者が少ない。地元出身者は卒業後地元に戻る可能性が高いため、県西部・県南部の高校へのアプローチを強化してはどうか。
- ・ 頭師委員長
高校訪問は全県的に行っているが、ご指摘の通り、遠方からの入学者確保に向けてさらに働きかけを行いたい。
- ・ 葉久委員
オープンキャンパス参加者が入学につながっているか把握しているか。
- ・ 四宮第一看護学科長
今年度の第一看護学科一般入学試験受験者のうち、約半数がオープンキャンパスに参加している。推薦入学試験受験者は7~8割が参加しており、効果があると考えている。
- ・ 葉久委員
推薦入学者と一般入学者では卒後進路の傾向に違いはあるか。
- ・ 頭師委員長
進路に関して、特段の傾向はない。
- ・ 福壽委員
推薦入学試験受験者数が多い高校は、以前から多くの生徒が受験してくれているのか。
- ・ 頭師委員長
複数受験者がいる高校はある程度決まっている。
- ・ 福壽委員
逆に言えば開拓できる可能性がある。県西部や県南部の高校へ働きかけて、受験者が増えることを期待する。また、就職者が多い民間病院は、何か繋がりがあるのか。
- ・ 四宮第一看護学科長
実習先の民間病院は、環境を知っていることもあり、選択肢に入りやすいのではないかと思う。
- ・ 葉久委員
訪問看護ステーションでの実習はどの程度行っているか。

- ・ 四宮第一看護学科長
第一看護学科では6月から7月にかけて一人当たり5日間実施している。
- ・ 藍原副校長
第二看護学科では約6日間実施している。
- ・ 庄野委員
訪問看護実習は、利用者の同意が得にくい現状があるが、学生のうちに在宅医療の現場を見ることは就職のハードルを下げる意味でも重要であるため、協力していきたい。
- ・ 三宅委員
オープンキャンパスのアンケートで「知りたい情報を得られなかった理由」という項目があるが、「何を知りたかったか」を問う項目に変えると、改善点がより明確になるのではないか。
- ・ 齋藤委員
第一看護学科社会人入学試験が不合格であった方のうち、准看護学科を受験する方はいるか。
- ・ 藍原副校長
准看護学科を受験する者はいると思うが、正確な人数は受験後に確認することとしている。
- ・ 齋藤委員
特に県西部において看護学生数の減少は深刻である。県全体で看護学生を確保できるよう、県への予算要望等も含め医師会としても取り組みたい。また、当校の学生の実習に触れる機会があったが、非常に熱心で、実習病院でも温かく指導されている様子を見て嬉しく思った。
- ・ 頭師委員長
委員の皆様からのご意見、特に県西部・県南部からの学生確保やSNS活用などについて、今後の学校運営に反映させていきたい。

6 次回開催

- ・ 岡山副校長兼事務長
次回開催は来年度8月から9月頃を予定している。

以上

※ 本議事録は、生成AI（Google NotebookLM）による文字起こし及び要約を元に、当委員会事務局において内容確認及び加筆修正を行い作成したものです。